



蛍光灯の製造が完全終了！

LED 化の再燃には



理由があります。

「蛍光灯の製造が終了！？」と耳にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。

昨年 2022 年に開催された水銀に関する「水俣条約会議」において、直管蛍光灯の製造と輸出入を 2027 年末で禁止することが合意されました。これで既に 2025 年で製造、輸出入禁止が決まっている電球型蛍光灯とあわせ、家庭やオフィスで広く使用されてきたすべての蛍光灯の製造が終了することになります。

今号では、こうした蛍光灯の製造中止の背景や、蛍光灯に代わり普及してきた LED の現状についてお伝えします。

◎製造中止の背景

水俣条約の締結前となる、2014 年に閣議決定した経済産業省による「エネルギー基本計画」では、蛍光灯から LED 照明への移行を推し進め、LED 照明の普及については 2020 年までにフロー 100%、2030 年までにストック 100%を目指すとして掲げました。

※フローとは製品の出荷台数、ストックとは実際の設置台数のことです。

つまり、2020 年までに蛍光灯や水銀灯の照明器具の生産・出荷を終了し、2030 年には現在使われている蛍光灯や水銀灯をすべて LED や有機 EL の照明器具に変えてくださいということです。

この計画の背景には、水俣条約による水銀灯の使用禁止や世界的なエネルギー資源不足、また地球温暖化により脱炭素の必要性など、さまざまな理由が挙げられます。経済産業省が 2030 年までの LED 化を目指すこの計画は、環境問題に積極的に取り組むものであり、大手メーカーも足並み

をそろえて取り組む姿勢を見せており、着実に進行しています。

これまでの LED 化の動きは、手厚い補助金が準備された大型施設や工場など、電力を大量に使用する施設では積極的に進められてきたものの、賃貸市場への補助金はほぼなく、賃貸マンションでの LED 化はまだまだ進められていない状況です。しかし、今後、蛍光灯の製造が終了し供給がなされないことから、自ずと賃貸マンションでの LED 化は、どこかのタイミングで必ず実施しなければならない状況にあります。

蛍光ランプ生産に関してのメーカー動向

製品	メーカー	メーカー動向
蛍光ランプ	日立ライティング	2019 年 6 月 生産終了
	岩崎電気	2019 年 9 月 生産終了
	三菱電機	2021 年 3 月 生産終了
	ホタルクス	2022 年 3 月 一部製品生産終了
	東芝ライテック	2020 年 1 月 一部製品生産終了
	Panasonic	2030 年までに型番毎に生産終了

参照：経済産業省 HP「水銀に関する水俣条約第 5 回締約国会議」の結果について

<https://www.meti.go.jp/press/2023/11/2023110901/20231109001.html>

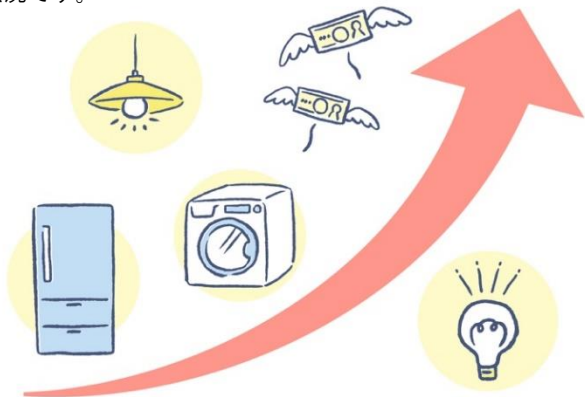


◎蛍光灯値上げの実態

蛍光灯の製造中止に加え、蛍光灯照明器具や蛍光灯の値上げも顕著です。1993 年から 22 年の間、蛍光灯の価格は据え置かれていましたが、2016 年以降、急激な値上げが続いています。

従来型の蛍光灯照明は交換頻度が高いため、値上げがランニングコストへ与える影響は大きく、今後も値上げが継続される可能性が高いと考えられます。事実、昨年主要メーカーの直管蛍光灯については最大で 80%の値上げがされています。

円安や物価上昇など、様々な情勢が問題視されており、「蛍光灯の値上げ」に加え、2023 年 6 月の大手電力会社 7 社の規制料金の値上げや、燃料費調整額の上昇など、不動産経営にかかる電気料金周りで様々な変化が起きています。こうした背景からも LED 化への機運が高まっている状況です。



◎LED 化のメリット

LED 化をするメリットとして、まず消費電力が少ないことから、電気代の削減につながる事が挙げられます。消費電力は白熱電球の約 6 分の 1、蛍光灯の約 2 分の 1 となるため、電気代が安く経済的です。

毎月の電気代は、下の 4 項目の合計金額が請求されています。

①基本料金+②電力量料金+③燃料調整費 +④再エネ割賦金

LED 照明の導入により、少ない消費電力（ワット数）の照明に交換することで、電力使用量（kwh）を減らし、毎月の使用料を下げるができます。上の②③④の電気代を削減することが可能になります。

また、今後、製造中止の影響から蛍光灯の種類によっては極端に手に入りづらくなることから、球切れが発生した場合、交換に要する時間がこれまでよりも長くなることが考えられます。共用部、階段やエントランスが暗い状態が数日続くという事態が発生する可能性があります。

今後起こりうるこうした事態を未然に防ぐことが LED 化によって可能になります。長寿命の LED 照明は白熱電球の約 40 倍、蛍光灯の約 4 倍長持ちすることから、そもそも球切れが少なくなり、頻繁な交換が不要になります。安全で快適な住まいを安定的に入居者に提供する必要のある賃貸経営では、LED 化は避けて通れないことになります。

◎まとめ

将来的には、今後も続く原材料価格の高騰や物流コストの上昇の影響により、LED 照明器具の導入費用は高くなる見込みだと言われています。

早く導入すればその分、導入費用を抑えることができるだけでなく、電気料金の削減効果も期待できるので、LED 照明への切り替えを計画的に検討することをおすすめします。

当社では、現在、みなさんが支払っている電気料金を基に、それを LED 照明に切り替えた場合の電気料金の差異を比較シミュレーションを提示することができますようにしています。その数値から、電気代を抑えることで生まれた差額を、切り替え工事費用に充てることで、実質 LED 化の費用を 0 円で実施できるプランを提示することも可能です。

この比較シミュレーションへのご依頼や LED 化にご不明な点があれば、担当者に気軽にお問い合わせください。

永松 駿輔

元旦のゆったりと流れる時間から急変した被災者の方々の絶望は、想像するに余りあります。1 月 1 日に発生した能登半島地震で被災された方々にお悔みとお見舞い申し上げます。住まいの提供をサポートする当社として、南海トラフ地震発生の可能性から今回の能登半島地震を対岸の火事にはなりません。地震は不動産経営の根幹を揺るがす脅威であり、リスク管理、被害予防、被害縮小の提案、そして発生時の迅速な対応を想定した社内体制の構築を進めてまいります。 エスタス管財一同